



## 掲載にあたって(平成十四年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中島, 和歌子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7190">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7190</a>

## 平成十四年度卒業論文要旨集

掲載にあたって

古典文学担当 中島和歌子

四年前の北海道教育大学教育学部札幌校の改組により、旧国語国文学科所属の教員六名は、学校教育教員養成課程の授業基礎開発系教育実践専攻に一名（吉原英夫）、同じく社会・言語教育系国語国文学専攻に三名（吉見孝夫、後藤秋正、中島）、国際理解教育課程日本語日本文化分野に二名（西原千博、馬場俊臣）と、三箇所に分かれることになった。他の教科についても、ほぼ同様のことが起こっている。

しかし、学生指導においては、種々の協力関係が今も続いている。というよりも、そうしなければ国語関係の全分野にわたる教育・研究はできない。

さて以下は、平成十四年度の卒業論文の要旨である。改組後初の卒業生となる。元は四百字詰め原稿用紙で五十枚から百枚ほど。あえて手書きを義務付けている。

右のような事情により、学生の所属はさまざまなので、指導教官ごと、つまり研究室ごとにまとめた。順に、国語教育学研究室（吉原）、日本語学研究室（馬場、主に現代語の文法）、国語学研究室（吉見、国語史）、近代文学研究室（西原）、古典文

学研究室（中島）、漢文学研究室（後藤）である。一部、中国留学などにより卒業が延びた旧国語国文学科所属の学生も混じっている。

卒業論文の要旨は、過去四十数年にわたり、B5版の『国語国文学科研究論文集』という雑誌を学生が自分達の力で編集して、各自この四―五倍ほどの長さのものを執筆していた。しかし、諸事情により継続が困難になったために、今年度からこのようななかたちで掲載する次第である。大方のご批正をいただければ幸いである。

※卒業論文に関する記録

〈平成十四年〉

七月十六日（火）午後 構想発表会 於二〇五教室

十月十五日（火）午後 中間発表会 於二〇四教室

十二月二十七日（金）提出 受付は午後一時から三時

提出先は古典文学研究室

〈平成十五年〉

二月四日（火）午後 口頭試問 於国語国文学第二演習室

二月十四日（金）正午までに主査・副査の点検完了

同日午後に卒業判定会議

三月二十日（木）卒業式 於講堂